

大人と子供

東中学校 三年 飯森 さくら

「困ったら大人に相談する」これは様々な場面がよく耳にする言葉です。今回は、大人と子供の思考の違いに触れながらどうすれば大人も子供も過ごしやすい世の中をつくることができるのかについて考えていこうと思います。

私は、自分一人で解決できない場面に直面した際、よく大人に相談します。自分より人生経験が豊富な大人に相談すると自分とは違う視点や考え方で解決策を提示してくれるので、皆さんも大人に相談したことがあるのではないのでしょうか。

大人と子供では思考や物事の捉え方が違います。だからこそ自分一人でずっと考えるより、大人の方からもらったアドバイスを取り入れて行動する方が、自分の悩みが早く解決することもありません。ですがこのような違いが、ときには悪い方向へ影響してしまうこともあります。

その例の一つははじめです。自分がはじめられていたことを誰かに相談することをどう思いますか？という質問では、ほとんどの子供が「相談した後のことが心配」と答えています。大人に相談すると、自分の気持ちを整理できるし、子供だけでは対処しきれないことを解決してくれる場合もあります。しかし、大人に相談することを良く思わない人からのいじめがエスカレートすることも少なくありません。これが起こるのは、子供が大人に求めていることと、大人が問題を解決するためにとっている行動が違うことがあるからだと思います。

私の場合、大人に相談するのは今すぐ問題を解決してほしいというより、今の心境を誰かに話すことで自分の気持ちを整理したいだけのときがあります。これに対して大人はできるだけ早く問題を解決することがその人にとって最善の方法だと考えることもあるのではないのでしょうか。このように大人と子供の考えが違うからこそ発生してしまう新たな問題もあります。

では、このような問題を解決するために私たちはどうすればいいのでしょうか。私が大切だと思うことは、お互いが思っていることを素直に伝えるということです。お互いの気持ちを共有し合い、それに対して思うことをしっかり伝え合うことで、先程話した大人と子供の考えの違いによる新たな問題を防ぐことにもつながると思います。思っていること素直に伝えると、時にはぶつかり合うこともあると思いますが、そうやってぶつかり合うことで大人も子供もお互いのことをより一層理解することができるようではないでしょうか。年齢の違いによって生じる思考の違いは良いことも悪いことも起こりうるということを意識し、まわりからもらった助言をしっかりと受け入れること、自分自身の意見をしっかりと待つことを忘れず生活していけば年齢関係なく過ごしやすい世の中をつくることができると思います。そのためにも他者の思いや考えを尊重することを大切に生活していきましよう。